

( 資料3 )

第1回

特別支援学級運営充実推進委員会

「報告書」に基づく各種取組の  
更なる充実に向けて

徳島県教育委員会

# 1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上

委員提言による今後の方向性（報告書P4）

- ・「当事者」や「保護者」の思いを聞く機会を設けるなど、内容の充実を図ること。

委員提言を受けた令和4年度の具体的な取組

## 「保護者」の思いを聞く機会の実施

○研修名 特別支援学級担任者研修会（新担任者対象）

○日時 令和4年5月18日（水）、20日（金）

○内容 講義：「保護者の立場から伝えたいこと」  
池田支援学校美馬分校 PTA理事 香川 育子氏

講義：「特別支援学『級』を選ぶ  
～保護者の立場から伝えたいこと～」  
阿南市手をつなぐ育成会 会長 島 優子氏

○参加者数 141 名



（小学校教諭）  
「学校は可能性を広げられる存在」という言葉がとても印象的で、もっともっと私も頑張っていかなければと思いました。

（中学校教諭）  
幼少期のお話を聞かせていただいて、涙が出そうになりました。

「保護者」の思いをさらに深めるための工夫は？

# 1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上

## 委員提言による今後の方向性（報告書P4）

- ・全ての教員が障がい特性や支援に関する基礎的な知識を保有しておく必要がある。
- ・経験年数や役職等に関係なく、幅広く特別支援教育を学ぶことのできる環境を整備すること。

## 委員提言を受けた令和4年度の具体的な取組

### 特別支援教育「あどばいすタイム」の実施

（オンライン研修会）

- 日時 毎月2回 放課後16:15～16:45
- 内容 4月: 自立活動, 心理面への配慮と支援  
5月: 構造化(自閉症の指導), 授業に集中するコツ  
6月: スクールワイドPBS, 医療面から見た支援と配慮等  
7月: 困った行動を分析(90分)  
8月: 心のバリアフリー☆アンバサダー研修(90分)  
お悩み語ろう・座談会(90分)
- 参加者数 毎回参加者数40名程度 延べ参加者数 161名(6月末現在)
- 研修資料 研修終了後もホームページからダウンロード可能



夏休みは  
ロングバージョン

現場のニーズに応じたオンライン研修の内容・方法は？

# 1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上

## 委員提言による今後の方向性（報告書P4）

- ・「いつでも」「どこからでも」特別支援教育に関する情報を収集し、自己研修ができるICTを活用した研修システムの充実を図ること。

## 委員提言を受けた令和4年度の具体的な取組

### 「特別支援教育推進月間」の実施

- 期 間 令和4年6月1日(水)～6月30日(木)
- 対象者 全ての幼小中高等学校教職員
- 内 容 特別支援教育に関するe-ラーニング研修の実施  
〔期間内に10領域85項目(1065問)から、  
学びを深めたい2～3項目を選択し、受講〕
- 6月のアクセス件数 10659件
- 鳴門教育大学との連携により、特別支援教育に関する問題を  
100問作成依頼

※次回の推進月間は11月1日(火)～11月30日(水)

好きな時間に、  
好きな場所で、  
自己研修が可能

小・中学校の教職員のみならず  
「特別支援教育推進月間」が  
始まります！

子どもたちの指導・支援の充実に向け、  
特別支援教育について学びを深めよう。

期間 6月1日(水)～6月30日(木)

※次回の「特別支援教育推進月間」は  
11月1日(火)～11月30日(水)です。

実施内容 ■ 特別支援教育に関するe-ラーニング研修  
期間内に10領域85項目から、学びを深めたい  
2～3項目を選択し、受講してください。

(徳島県立総合教育センターホームページ内「特別支援まなびの広場」へアクセス)

徳島県教育委員会 特別支援教育課 学校教育課 特別支援まなびの広場  
Tel. 088-621-3140 tokubetsushienkyouikuk@pref.tokushima.jp 詳しくは総合教育センターホームページ

教員の自己研修がより現場で生かされるための具体的な取組は？

# 1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上

## 委員提言による今後の方向性（報告書P5）

- ・特別支援学校で取り組んでいる「学校コンサルテーション」を導入するモデル校を設置し，大学等の教育機関との連携のもと，特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターの指導力・実践力の育成につながる取組を推進すること。

## 委員提言を受けた令和4年度の具体的な取組

### 特別支援学級コンサルテーションの実施

- 研究助言：鳴門教育大学
- モデル校：鳴門市堀江北小学校，小松島市千代小学校
- 取組・実践チームの編成，情報共有のための研修会を実施
  - ・対面及びオンラインで複数回のコンサルテーションを実施し，1月に成果を報告



全教員のスキルアップが図られる

### 鳴門教育大学と県教委との連携に関する覚書の締結

- 鳴門教育大学生が「特別支援学級」で学ぶ機会の確保（授業参観，研究協議）



特別支援学級担任の指導力向上に必要な内容は？

## 2 校内支援体制の充実・連携強化

### 委員提言による今後の方向性（報告書P7）

- ・子どもたちが「ポジティブな目標」について主体的に話し合い、決定したことを学校全体で取り組むことにより、児童生徒が誰かの役に立つ経験や喜びを知る教育を推進すること。

### 委員提言を受けた令和4年度の具体的な取組

#### 「ポジティブな行動支援」の取組を推進

- 24市町村教育委員会に対する説明会の開催（6月16日）
  - ・「ポジティブな行動支援」の概要と小学校における実践報告
- 管理職への特別支援教育に関する研修を実施
  - ・学校リーダー研修（オンライン視聴：4月25日～6月30日）
    - ・ポジティブな行動支援の導入について
    - ・教員の専門性向上に向けた取組について
  - ・学校リーダー研修（6月28日）
    - ・校内支援体制と校内委員会の充実に向けて
    - ・校内支援会議「プチ」の実践事例紹介



特別支援学級の児童生徒が、誰かの役に立つ経験や喜びを知る教育を推進する具体的な方策は？

### 3 関係機関等との連携の充実について

#### 委員提言による今後の方向性（報告書P8）

- ・関係機関とつながるための相談ノウハウを、全ての教員に周知すること。
- ・オンラインを活用するなど、必要な時にすぐ相談できる体制を整備すること。

#### 委員提言を受けた令和4年度の具体的な取組

##### 「相談ノウハウ」のチラシ作成と改善に向けた取組（資料4参照）

○チラシ掲載内容：学校が連携している主な機関

保護者が抱える悩みを関係機関につなげる方策

連携のポイント

連携による解決事例

※今後、研修等で配布し、特別支援学級担任の意見等を聞きながら改善

##### 「特別支援学級担任向け掲示板」の設置

○対象：特別支援学級担任者

○設置期間：令和5年度～

○内容：悩みや情報交換の場として活用

○モデル地域を設定し、効果と課題を検証

関係機関等との連携を深めるための工夫は？

### 3 関係機関等との連携の充実について

#### 委員提言による今後の方向性（報告書P8）

- ・大学等との連携のもと、誰もが活用できる支援ツールをインターネット上に公開（「FAQ」のような質疑応答集の作成）

#### 委員提言を受けた令和4年度の具体的な取組

#### 特別支援教育に関する「FAQ」を開設。

- 総合教育センターホームページ「特別支援まなびの広場」に公開中。
- 内 容：4カテゴリ20項目を公開
  - ・「**特別支援学級に関する項目**」
  - ・「特別支援学級の障がい種に関する項目」
  - ・「各教科を合わせた指導に関する項目」
  - ・「新学期の配慮に関する項目」

※ 今後、随時追加予定。

#### FAQの公開例

FAQ

特別支援教育に関するFAQ（※カテゴリを選択してください）

特別支援学級に関するF... 10件

- ② 特別支援学級で編成する「特別の教育課程」とは何ですか？
- ② 自立活動とは何ですか？
- ② 自立活動の内容について知りたい。
- ② 特別支援学級の在籍児童生徒において、特別支援学級で学ぶ時数をどの程度確保すればよいのでしょうか。
- ② 特別支援学級で学ぶ時数が、週の授業時数の半分以上となると、週の授業時数が29時間の場合週あたり15時間を超えますが、時間割を作成する上でのポイントはありますか。
- ② 特別支援学級と通級による指導の違いは何ですか。

現場の先生方が知りたい内容は？必要だと考える情報は？

### 3 関係機関等との連携の充実について

委員提言による今後の方向性（報告書P8）

- ・オンラインを活用し、特別支援教育に携わる教員が、情報共有を行ったり、相談したりできる機会を設定。



委員提言を受けた令和4年度の具体的な取組

「地域別事例検討会」を設定。

- 特別支援学校のセンター的機能を活用
- 地域における学校間連携の強化
  - 地域で支え合うことによる専門性担保
- ・開催方法：障がい種別、地域別にグルーピングし、集合またはオンラインにて開催（6月～10月）
- ・対象：全ての特別支援学級担任者及び通級による指導担当者
- ・内容
  - ・指導方法に関する検討
  - ・教材に関する検討
  - ・日頃の悩みに対するアドバイス



特別支援学校の専門性を地域で学ぶ児童生徒の成長につなげるためには？